

首相も再稼働強調

安全「全原発停止、経済影響」 確認後

菅直人首相は十九日、自然エネルギーに
関する国民との「オー
ブン対話」を官邸で開
き、電力不足を回避
するため、定期検査な
どで停止中の原発に
ついて再稼働を急ぐ考
えを示した。「全ての
原子炉を止めれば経済
に対する影響があまり
にも大きい。安全性が
確認されたものは稼働
していく」と強調し
た。

福島第一原発事故を
機に、既存の電力会社

が発電から送電、小売
りまで独占的に担う電
力事業の在り方を見直
す考えも表明。「巨大
な発電をしている自分
の会社に有利になる
よつな送電の使い方は
改めなければならな
い」と述べた。ただ退
陣とも絡み、発電電分
離については実現の見
通しがあるわけではな
い。

首相は、自然エネル
ギー推進を重ねて訴え
ると同時に「原子力政
策を進める行政が『風

力や太陽光発電はコス
トが高く、供給が不安
定』として、意図的に
力を入れなかった面が
ある」と指摘した。

ある」と指摘した。
オーブン対話では、
東日本大震災被災地の
仙台市や福島県郡山市
など四力所とインター
ネットをつなぎ、約二
時間にわたり議論。首
相は、短文投稿サイト
「ツイッター」などで
寄せられた質問に答え
た。

首相は、短文投稿サイト
「ツイッター」などで
寄せられた質問に答え
た。